

四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校

新座市立第四中学校学校だより 令和8年3月2日 第13号
TEL 048-477-6053 URL www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon



「魅力ある学校」について考える

校長 大井 敏彰

先月末、県公立高校入試があり、多くの3年生が最後の受験に臨みました。1、2年生は学年末テストがあり、1年間の学習の成果を発揮するべくテストに臨みました。いよいよ3月、令和7年度の最終月を迎えました。

【活気あふれる第四中学校】

先月、2つの大きな行事がありました。

①新座市教育委員会委嘱研究発表会

2月10日(火)に多くの参会者をお招きして、研究発表会を開催いたしました。代表クラスで理科、保健体育、英語の研究授業を行った後、教員研修の場では、全教科でワークショップ型のパネル発表を行いました。



【2.10 本校教員、生徒、参会者による意見交流】

ここでは、代表生徒に参加してもらい、本校の研究テーマである「質の高い学びの実現に向けた授業」について、生徒の視点から意見を発信してもらいました。参会者も市内外の小・中学校の先生方だけでなく、教育委員会や地域の方々、高校の先生、大学教授、教職を目指す大学生など、様々な立場の方にご参加いただきました。20分間という短い時間ではありましたが、和やかな雰囲気の中で、活発に意見を交わす様子が随所に見られました。本校の授業力向上につながる大変有意義な時間になりました。

②3年生 総合的な学習の時間「四中絆博」

2月19日(木)午後、3年生が総合的な学習の時間で準備してきた「3年生が送る会～四中絆博～」が、1、2年生や先生方、保護者の方をお招きして、盛大に開催されました。

この行事は、教員が「生徒の好きなことや得意なこと、やりたいこと」を尊重しながら練った計画に基づき、運営面も含めて生徒が主体となって創り上げたイベントです。当日は、3年生一人一人が各自の持ち場で役割を果たしながらも「感謝の気持ちをイベントで伝えよう」といった一体感が感じられました。



【2.19 四中絆博 ～いろいろな出し物～】

イベントは、3年吹奏楽部のオープニングアクトで開会しました。その後、自作のゲームコーナーや鉄道ブース、ハンドメイドクラフト、お化け屋敷、映画上映など、3年生の創意工夫を生かした出し物が随所に見られ、会場内は参加した人たちの笑顔で満ちあふれていました。下級生は「楽しかった」「私たちもやってみたい」と口々に満足感を表現していました。

2つの行事は、多様な立場の方を巻き込みながら、活気あふれる活動になりました。これらは「四中の大きな魅力」であると感じました。

【「魅力ある学校」とは】

これらの行事は「魅力ある学校」とは何かを考える機会になりました。『学校をつくり直す』（苦野一徳著／河出新書）の中のいくつかの言葉が心に留まったので紹介します。

- ・学校は「頑丈なスーツケース」ではなく、形に入れない多様な子供たちを優しく包み込む「大きな風呂敷」のような、みんなのためのもの
- ・公教育では、自分が自由に生きるために他者の自由も認め、尊重できるようになるために「自由の相互承認」の感度を育むことが重要
- ・ゆるやかな協同性に支えられた教室では安心して過ごすことができ、個の学びが保障される
- ・子供たちの姿こそ、最大の説得力

これらをまとめると、多様な子供たちが安心して過ごすことができたり、お互いを認め合いながら自己表現できたりする学校が「魅力ある学校」であると言えそうです。2月の行事を成果として、さらに「第四中学校の魅力ある学校づくり」を推進していけるよう、引き続き努めてまいります。